



NewTek社 LightWave 3Dの最新バージョン「LightWave 10」リリース

2010年12月31日、NewTek, Inc. (本社所在地: 米国テキサス州サンアントニオ)は、エミー賞受賞の実績を持つLightWave 3Dの最新バージョン「LightWave 10」をリリースいたしました。

LightWave 10は、3Dアーティストとスタジオの間に全く新しい可能性を提供いたします。3Dアーティスト達は、個人であろうと、スタジオに所属しようとして、すぐにフィードバックが得られるLightWave 10 を使うことにより、よりクリエイティブなプロセスに集中することができるようになります。

LightWave 10は、NewTekのポリシーである「アーティスティックな制作プロセスをサポートするツール作り」を基に独自開発を進めている「LightWave CORE」に伴って生み出された新しい技術を活用しています。

LightWave 10は、アーティスト達が、ビューポート上で直感的、直接的にライティング、テクスチャ、ポリューメトリックなどといった演出効果の変更を確認できるだけでなく、ステレオスコピックのリアルタイムなアップデート、これまで不可能とされていたリアルな環境(シーン)におけるウォーク・スルーといったことまでも可能にします。また、インターフェイスの改善、パイプラインの強化を実現するデータ互換ツールの実装など、LightWave 10はこれまでのどのバージョンよりも、便利で使い勝手の良いプログラムに仕上がりました。

このLightWave 10は、LightWave HardCoreメンバー(パブリックベータテスター)と、ハリウッドの著名なスタジオなどの協力、アドバイスを御得て開発されており、アーティストが期待するものを提供します。

EdenFXスタジオ スーパーバイジング・アーティストのStefan Bredereck氏は、LightWave 10について以下の様にコメントしています。

「我々がLightWave 10へアップグレードした理由のひとつに、LightWave 10で新しくサポートされた「リニア・カラー・スペース・ワークフロー」機能が挙げられます。この機能を使うことにより、写実的な効果がこれまで以上に高速に、そして効率的に表現することができるようになりました。LightWaveのレンダリングエンジンは、我々の作品の品質全体を引き上げてくれるのです。それだけでなく、LightWaveは我々が求める結果を、あっという間に仕上げてくれます。たとえチャレンジングな試みを行ったとしても、期待通りの結果を、予想をはるかに超えるスピードで出してくれるのです。LightWave 10の新しい機能は、我々にとって大変価値のあるツールです。」

NewTek社 LightWave開発部 副社長Rob Powers氏は、LightWaveについて以下のようにコメントしています。「LightWave 10の目標は、アーティスト達がこれまでになくクリエイティブな3Dコンテンツを制作できるようにする最高のワークフローを提供していくことです。テクノロジーとは、アーティストのために存在するものであり、ほかのものでもありません。そのひとつの実例が、私が所属していた映画「Avatar」のバーチャル・アート・部門です。テクノロジーが、ディレクターをサポートし、フィルム制作プロセスそのものに変革をもたらしたのです。」

◆LightWave 10の主な新機能と利点

●ビューポートプレビューレンダリング(VPR)

リアルタイムレンダラー。指定した範囲内だけをレンダリングすることも可能。

●ステレオスコピック・アナグリフのプレビュー

リアルタイムな瞳孔間隔の調整、赤青アナグリフ表示によりビュー上で表示しながらの作業可能。

●バーチャル・スタジオ・ツール

Virtual Art Departments(VAD)で導入されたInterSense VCam仮想カメラ、および、3Dconnexion社製の3Dマウスをサポートすることにより、リアルタイムにシーン内でモデルデータの演出が可能。

●リニア・カラー・スペース・ワークフロー

よりリアルなライティングおよびプロレベルのパイプラインにおける合成の柔軟性を最大限に引き出すため、ガンマ、カラースペース、カスタムのルックアップテーブル(LUT)をサポート

●データ互換ツール

MDD、Autodesk® ジオメトリキャッシュ、FBX®、COLLADA™のサポートを強化することにより、他アプリケーション間におけるデータのやり取りの簡易化を実現。

●ユーザーインターフェース

インタラクティブ・チャンネルスライダー、カスタムカラーのコントロールの追加、その他さまざまなワークフロー改善。

◆LightWave 10に関する情報

LightWave 10に関する詳細な情報は、下記のURLをご参照ください。

LightWave 10日本語サイトトップページ:

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/index.html>

LightWave 10 新機能紹介:

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/newfeatures.html>

LightWave 10 機能紹介ビデオ:

<http://www.dstorm.co.jp/dsproducts/lw10/onlinevideos.html>

◆LightWave 10体験版(英語版)のご提供について

LightWave 10体験版(英語版)は、下記のURLよりダウンロードしてご利用することができます。

<http://www.newtek.com/lightwave/lwtrial.php>

<備考:>

* 本体験版は、30日間無料フル使用可能です。

* LightWave 10 日本語版の体験版は、2011年5月以降のご提供を予定しております。

◆国内におけるLightWave 10の価格とリリース時期

国内におけるLightWave 10日本語版の価格とリリース時期は以下の予定となっております。

◆LightWave v9以下のバージョンからLightWave 10 プレリリース日本語版へのアップグレード

【対象者】

- ・LightWave v9.X/通常版ユーザー
(2009年5月31日以前に新規にてご購入された方)
- ・LightWave v9.X/通常版ユーザー
(2009年3月1日以前にアップグレードされた方)
- ・ LightWave 3D [8] 以下/通常版ユーザー

【販売開始時期】 2011年2月中旬

【アップグレード料金】 60,000円 (税別)

【備考】

- * アップグレード料金は、ご所有のバージョンに関係なく一律価格となります。
- * 現在、パラレル/ADB dongleにてLightWave 3Dをご利用の方で、USB dongleへの交換を希望される方は、本アップグレードサービスを受けることにより、dongle交換を代金無償にてご提供させていただきます(dongleのご返却が必要です)。
- * 上記アップグレード料金は、LightWave 10 プレリリース/日本語版へのアップグレード料金です。LightWave 10 正式/日本語版(2011年5月予定)へのアップグレード料金は75,000円(税別)を予定しております。
- * LightWave 10 プレリリース日本語版は、ユーザーインターフェースは日本語(英語との切り替え可能)、日本語マニュアルは、LightWave 10新機能ガイド、並びに、LightWave v9の電子マニュアルが付属されます。
- * LightWave 10 プレリリース日本語版へアップグレードされた方は、LightWave 10 正式/日本語版(2011年5月予定)へのアップグレードはダウンロードによる無償配布となります。

◆LightWave 10 正式日本語版の発売開始予定日

【販売開始時期】 2011年5月

【価格】 新規:188,000円 (税込) アップグレード料金:75,000円(税別)

【備考】

- *LightWave 10 プレリリース日本語版の新規パッケージは販売いたしません。LightWave 10 正式/日本語版の発売開始となるまでの期間は、現行のLightWave v9.6 日本語版(希望小売価格:118,000円)を継続してご提供させていただきます。
- * 現在販売中のLightWave v9.6 日本語版は、LightWave 10(英語版)への無償アップグレード付となります。

◆NewTek社について

NewTek社は、制作会社やアーティストに対して、より多くの利点、利益を提供するために、草分け的テクノロジー、そしてできるだけコストパフォーマンスに富んだ製品をお届けすることを主眼に、3Dアニメーションツール「LightWave 3D」、ポータブルライブプロダクション・映像編集ツールTriCasterや3PLAYを開発、そして販売している開発集団です。

NewTek社は、これまでにエミー賞を2回受賞しているほか、3DCGまたは映像業界から数多くの賞を表彰されています。

NewTek社の製品は、最近の映画ではAvatar、Repo Men、Alice in Wonderland、Tintin、The Dark Knight、Iron Man、Caprica、V、CSI: Crime Scene Investigation、Lost、Fringe、など、数多くの著名な映画、テレビ番組にて利用されています。

◆ディストームについて

ディストームは、NewTek社の国内代理店として、1992年10月に株式会社ディ・ストームとして設立、2005年4月に株式会社エヌジーシーと経営統合しディ・ストームディビジョン、そして、2009年11月に新会社として株式会社ディストームとして再設立させていただいた会社です。

新ディストームは、NewTek社製品LightWave 3D、TriCaster、3PLAYのローカライズ、そして、国内ディストリビューションを主事業としながら、3DCGや映像系分野におけるローカライズ業務、受託開発、プラグイン開発、加えて、イベントの開催など、ただ単なるモノ売り会社の領域を超え、よりクリエイター支援に視野をおいた事業活動を行う集団です。

LightWave 3Dは、米国NewTek社の登録商標です。

TriCasterは、米国NewTek社の登録商標です。

LightWave, 3PLAY, DataLink, TriCaster VM, TimeWarp, LiveControl, SpeedEDIT, VT[5], iVGA, LiveSet, LiveMatte, LiveText, 3D Arsenal 米国NewTek社の商標です。

その他、記載の商品、会社名は、各社の商標または登録商標です。

このリリースに関する問合せ先

株式会社ディストーム

〒102-0076 東京都千代田区五番町2-4 カサ・ド・タク 50B

電話:03-5211-3208 FAX:03-5211-0207

電子メール: info@dstorm.co.jp

※会社名、製品名、システム名の商標および登録商標はそれぞれの社に帰属します。

※当プレスリリースに記載されている仕様、出荷時期、価格は、予告無く変更されることがあります。